



2026年3月5日

各 位

会 社 名	光ビジネスフォーム株式会社		
代表者名	代表取締役社長	松本	康宏
(コード)	3948)		
問合せ先	取締役管理本部長	岡野	寛
(TEL)	03-3348-1432)		

## 当社取締役会の実効性評価の概要に関するお知らせ（第3回）

当社取締役会は、当社の「コーポレートガバナンス基本方針」に示す通り、取締役会全体としての実効性に関する分析・評価については、2024年2月に評価分析、3月に結果の開示を行い、以後定期的に実施することといたしました。つきましては、第3回の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 今年度の分析・評価方法

取締役会の実効性に関する前年度評価からの取組みを説明の上、あらためて、取締役、監査役全員に取締役会の実効性に関するアンケートを実施し、回答を得ました。このアンケート結果をまとめ、当社取締役会の実効性に関する評価を行いました。

なお、評価を実施した大項目は、従来同様①取締役会の構成、②議案内容、③運営、④取締役会を支える体制の4項目です。

#### 2. 前年度評価からの取組み

取締役会の実効性向上のために、前年度確認した課題に対する取組みは次のとおりです。

##### (1) 代表取締役の後継者計画及びその監督

→指名報酬委員会を2025年度内に5回開催。代表取締役の後継者に関する議論を行いました。

##### (2) 取締役・監査役に対するトレーニング

→新任取締役に対して最近の投資家動向をテーマとした専門家による外部研修を受講させました。

#### 3. 今年度評価結果の概要

上記による評価の結果、当社の取締役会は、事業規模に適した構成と員数を備えており、事業戦略等の大きな方向性に関する議論等について活発に行われております。また、取締役会の運営状況、社外役員への情報提供などの面において、当社取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は継続的に確保されていることを確認いたしました。

一方で、取締役会の実効性を更に高めていくために、運営に関しては、審議事項の事前説明等、取締役会を支える体制に関しては、代表取締役の後継者計画及びその監督、取締役・監査役に対するトレーニングなどが取組みを強化すべき課題であることを確認いたしました。

#### 4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の評価結果や各取締役からの提言・意見を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けて様々な取組みを実施し、一層充実したコーポレートガバナンス体制の構築及び更なる企業価値の向上を目指してまいります。

以 上